



東京都立 八王子東高等学校

- 学校長／宮本 久也
- 創 立／昭和51年
- 生徒数／953名(男495名、女458名)

沿革

昭和51年4月開校。平成13年9月に、本校は大学進学を重視する都立高校4校の中の1校として、東京都教育委員会から進学指導重点校の指定を受ける。実績を高く評価され、重点校の指定は平成34年度（令和4年度）まで延長された。

特色ある教育

本校の教育目標である「健康・勉学・良識」は、「心身ともに健康で知性と感性に富み、思いやりと規範意識のある立派な社会人」を育成することにあります。さらに八王子東では、これからの「変化するグローバル社会において活躍できる人材の育成」を目指しています。本校の最大の特色は、日々の生活が生徒諸君の可能性を引き出し、才能を磨き続ける場となるよう学校全体が一つになっていることです。日々の授業を大切に、「学校に軸足を置いた生活」を通して、生徒の可能性を引き出し、着実に難関大学への進学実績を伸ばしているということです。

また、生徒の個性や自主性を大切に部活動や学校行事を奨励し、校樹「シラカシ」のように、幅の広い大きな人間を育成しようとしています。勉強も部活動も行事もどれも一所懸命に取り組んで、総合的な人間力を高めることを目指しています。

多くの卒業生が「ヒガシのよさは、入学しないと分からない。ヒガシの本当のよさは卒業するときに分かる。」と言っています。八王子東では、共に高め合い磨き合う、素晴らしい仲間や先輩、そして信頼できる先生たちとたくさん出会うことができます。

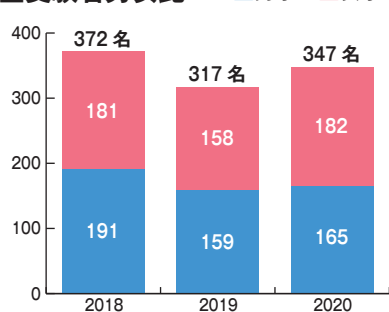
探究オリエンテーションをはじめ、「国語探究」「英語探究」「探究基礎」「探究応用」などの授業をはじめ、探究的な学習を拡充し、生徒自身の興味・関心を基にして、論理的思考力や表現力をさらに高めていく活動を推進しています。

学校行事

- 【4月】 始業式、入学式、対面式、新入生歓迎祭、生徒総会
- 【5月】 スポーツ大会、1学期中間考査
- 【6月】 芸術鑑賞教室
- 【7月】 1学期期末考査、実力テスト、部活動合宿、夏期講習
- 【8月】 部活動合宿、夏期講習
- 【9月】 しらかし祭（文化祭・体育祭・後夜祭）
- 【10月】 2学期中間考査、秋期講習、遠足、修学旅行
- 【11月】 実力テスト
- 【12月】 2学期期末考査、冬期講習、スキー教室（希望者）
- 【1月】 冬期講習、実力テスト、直前講習
- 【2月】 合唱祭、百人一首大会、直前講習、台湾研修旅行（希望者）
- 【3月】 学年末考査、卒業式、修了式、トレント海外研修（希望者）

過去入試データ

■ 受験者男女比



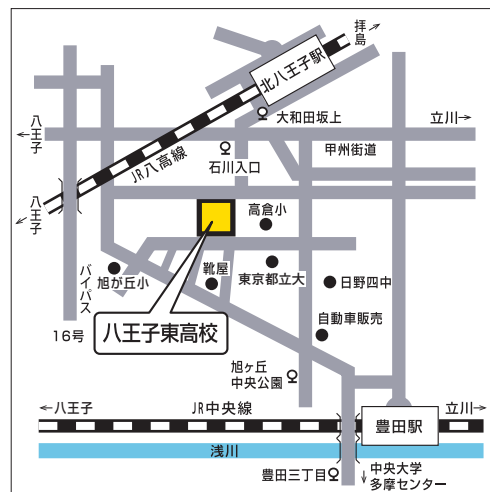
入試結果のデータ一覧（応募・受験・合格）

年度	募集者数			応募者数			受験者数			合格者数			実質倍率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
2018	132	122	254	205	186	391	191	181	372	135	124	259	1.41	1.46	1.44
2019	132	121	253	170	164	334	159	158	317	135	123	258	1.18	1.28	1.23
2020	132	122	254	182	189	371	165	182	347	135	124	259	1.22	1.47	1.34

※上記は一般入試の数値です。



校舎写真▲



MAP▲

交通

JR中央線八王子駅北口および京王八王子駅から日野駅行（豊田駅北口行も可）バス、またはJR中央線豊田駅北口から八王子駅北口行バスで「大和田坂上」下車徒歩6分。JR中央線豊田駅北口から平山工業団地循環バスで「旭ヶ丘中央公園」下車徒歩6分。JR八高線北八王子駅から徒歩11分。

▶ 入学者決定方法（2020年度）

推薦入試（定員の20%）

募集定員	配点	
男子32名	調査書点 5段階×9教科× $\frac{500}{45}$	500点
女子30名	集団討論・個人面接点	200点
合計62名	小論文点	300点
合計		1000点

一般入試（定員の80%）

募集定員	配点	
男子132名	学力検査100点×5教科× $\frac{700}{500}$	700点
女子122名	調査書点(主要5教科+技能4教科×2)× $\frac{300}{65}$	300点
合計254名	合計	1000点

▶ 2020年度 入試問題分析

英語

②はスマートフォンがもたらす弊害についての対話文である。適語・適文補充問題や内容把握問題、語句整序問題は例年通りだったが、新たに文章の流れに合わないものを選ぶ問題が出題された。設問数は8問と例年通り。③大量消費社会の中における断捨離・ミニマリズムについての長文読解。設問数は10問と昨年度、一昨年度と同じ。語句整序問題が1問出されている他は、すべてが内容把握に関する問題ばかり。②の条件英作文は「スマートフォンがもたらす弊害」について自分の意見を書く問題であった。②の対話文や③の長文はともに読みやすい題材で、長文の長さも例年通りであった。

約2300語の分量を、リスニングを除いて約40分で解かなければならない。まずは語彙力、文法力の強化に心がけ、夏までには単語帳は一通り終わらせ、文法も完成させておくこと。注釈にある単語のほとんどは単語帳に載っているものが多い。語彙力をつけておくことで長文を速く読むことができる。

数学

大問4題、小問14問と昨年度同様の問題数だった。作図が1問、証明が1問、途中過程の記述が求められる問題が2問出題された。②、③、④の〔問1〕は易しい問題なので、確実に得点したいところ。

①は、小問で構成されており、計算問題はケアレスミスに気をつけ、確率の問題は表を使ってスピーディに解き、作図もしっかり正解して25点を確実に得点したいところ。②は二次関数と直線についての問題で、座標を文字において、文字の範囲に気をつけて結論を出すといった例年通りの問題が出題された。③は辺の長さが等しいことから、同一円周上にあることに気付いて円周角の定理から証明させる問題が出題され、確実に得点したい問題であった。④は平面図形を折って作る空間図形の問題。長さ、面積、体積を求める問題で空間図形の典型的な問題が出題された。

全体としての難度は例年通り難問・奇問は見られず、標準的な問題であった。対策としては小問ではケアレスミスをしないように日々の計算練習と、標準問題の解法をしっかりと定着させることと併せて基本的な定理をしっかりと使えるようにする。1問に時間をかけすぎないようにそれぞれの問題の時間配分に気をつけて解き進める練習が重要となってくる。

国語

大問5題の構成・配点は昨年度とほぼ同じ。難度も昨年度と同程度である。

①と②の漢字は例年通りで、頻出問題ばかり。③の小説文は水墨画家でもある砥上裕将『線は、僕を描く』からの出題。選択問題4問と50字記述1問。選択問題では文章の表現の特徴を問うものが多かった。記述では「～と対比しながら…」というガイドラインに沿って書けば難しくない。④の論理的文章は西江雅之『ことばだけでは伝わらない コミュニケーションの文化人類学』からの出題。選択問題3問、50字記述1問、200字作文の構成。記述は傍線部について「どういうことか」を説明させるものであり、本文中の言い換え箇所をきちんと捉えればほぼそのまま解答を組み立てられる。⑤の現古融合文は藤本宗利『感性のきらめき 清少納言』からの出題。選択問題3問と抜き出し2問という構成。古典に関する知識をほとんど必要としないかわりに、枕草子の描写表現の特異性についての筆者の主張を読み取る論理的読解力が求められた。200字作文は、問いについての筆者の主張をふまえた上で、具体例を一つ上げながら自分の意見を展開するという条件を満たせばよい。限られた時間内に、条件を満たして書き上げるには、できるかぎり添削指導を受けながらの練習を重ねることが大切である。

▶ 2020年度 大学合格実績

実績数値は現役・浪人の合計数。() の数字は現役合格者の数。

東京大	5名(2名)	東北大	3名(0名)	東京農工大	13名(9名)	早稲田大	33名(14名)	青山学院大	27名(19名)
京都大	2名(0名)	筑波大	7名(7名)	お茶の水女子大	2名(0名)	慶應義塾大	25名(10名)	立教大	24名(16名)
東京工業大	8名(4名)	千葉大	5名(1名)	横浜国立大	9名(6名)	上智大	9名(7名)	中央大	110名(50名)
一橋大	9名(5名)	東京外語大	4名(2名)	東京都立大	24名(16名)	東京理科大	39名(23名)	法政大	76名(47名)
北海道大	6名(3名)	東京学芸大	10名(7名)	電気通信大	6名(5名)	明治大	80名(42名)	学習院大	9名(2名)
国公立大合計		158名(92名)							